

～みんなの大淀川～

背景

私は現在宮崎に住んでいますが、ある時福岡を訪れた際に好奇心から大濠公園へ足を運びました。そこで見たのは出身地の長崎でも今住んでいる宮崎でも見たことのないコミュニティーの場でした。大きな池を囲むジョギングコース、池を探索できるアヒルボート、池の端と端を結ぶ橋と島、その周りにある子どもの遊び場、憩いの鑑賞の場とされる日本庭園、その他にも能楽堂や美術館、武道館なども隣接していて、そこには小さい子から年配の方までたくさんの人で溢れていました。福岡のようなビルの建ち並ぶ街にこのようなスペースがあることに驚き、それとともにこのようなスペースを宮崎にも造れないものかと考えました。そこで私が着目したのが宮崎のシンボルともいえる大淀川です。大淀川は第一級河川とされており、川幅も大きく、広い河川敷もあります。そこで、この広大な地をもっと有効活用すればよりよいコミュニティーの場ができると考え、**大人にも子どもにも楽しんでもらえて、なおかつ周辺地域の活性化、地域の輪の拡大に**つながるような場を築き、それをきっかけに自分の住むまちについて**興味・関心**をもっていただければ地元への**愛着**を持てると思い、この案を考えました。



図 1. 宮崎市

目的

私の考えではありますが、

- ・宮崎では毎年多くのマラソン大会が開かれているが、ジョギングコースのような場所を身近で目にする機会はない・・・。
- ・公共交通機関があまり発達していないため車社会が進展→運動不足気味？
- ・子どもには自然とふれあいながら成長してほしい！
- ・自分の住んでいるまちについて興味をもってほしい！
- ・自分の住んでいるまちを好きであってほしい！
(特に地元)



大人子ども関係なく、地域の自然とふれあう中で、楽しさや地域の良さというものを感じてもらい、かつ、そこに集まる人とのコミュニケーションをとることで地域の輪を広げていくことができる。
さらに、地元の自然とふれあうことでそのことを知ってもらい、自分の住むまちに愛着がうまれる。

ex)

青島太平洋マラソン
綾・照葉樹林マラソン
など

そこで私は図 1 に示す大淀川の○部分に着目した提案を以下に示します。

提案

大淀川の河川敷へのジョギングコースと子どもの遊び場、それに加え大淀川の自然とふれあえる場の設置を行うというものです。

具体策としていくつか案を挙げますと、

- 既存のジョギングコースもあるようですが1周が長いもので20km、短いもので6kmと1周の距離が長くなっており、ジョギングコースとして舗装などを施されているわけではありません。そのため既存のジョギングコースである橘橋―宮崎大橋ルート(6km)に加え橘橋と宮崎大橋の間の天満橋を利用し、橘橋―天満橋(橘橋―宮崎大橋の間に架かる橋)コースも整備・舗装することで短いルートから長いルートまで人それぞれにあった距離を選んで走ってもらうことができるようになる(図4参照)。
- 子どもとの時間も大切にしたいという保護者の方のために子どもが自転車で並走できるような道の幅を確保できるように堤防の道を整備する。また、ジョギングコースは色分けし、スタート地点を定めた上でそこからの距離を地面に書いたり看板を作ったりという方法で示すことで走っている人に目標・目安などを立てやすい環境を作り、意欲を持ってもらい、楽しみながら走っていただける空間をつくる。



図2. 福岡「大濠公園」



図3. 釧路「春採湖」



図4. 大淀川

- 大淀川のきれいな**景色**を活かすということです。春には堤防の**桜並木**が花を咲かせ、その下を走ることができます。そこで、桜が植えられていない橋橋一天満橋間に**秋の紅葉であるもみじ**を植え、さらなる景色の魅力を高める。
- 走る意欲の促進や行事への参加のきっかけ作りのために所々にマラソン大会や行事開催のお知らせをする**掲示板**をつくる。
- 会社帰りに少し体を動かしたいという人のためにも**ロッカールーム**や**シャワールーム**等の利用可能な施設を隣接させることや、走った後に体の疲れを癒やしてもらうとともに、周辺施設を盛り上げるためにも**周辺の温泉施設**との連携をはかり、駐車券などを利用した割引サービスなどを行う。



図5. 宮崎「大淀川」



図6. 神奈川県「厚木中央公園」

- 子どもにも楽しんでもらうためにいくつかの遊び場を設ける。案としては堤防の芝生の傾斜を利用した**草スキー**と図6のような**遊具**の設置、近くにある**せせらぎ水路**（水遊びのできる場）の利用、**カヌー体験**の活発化などです。

●川とのふれあいゾーン

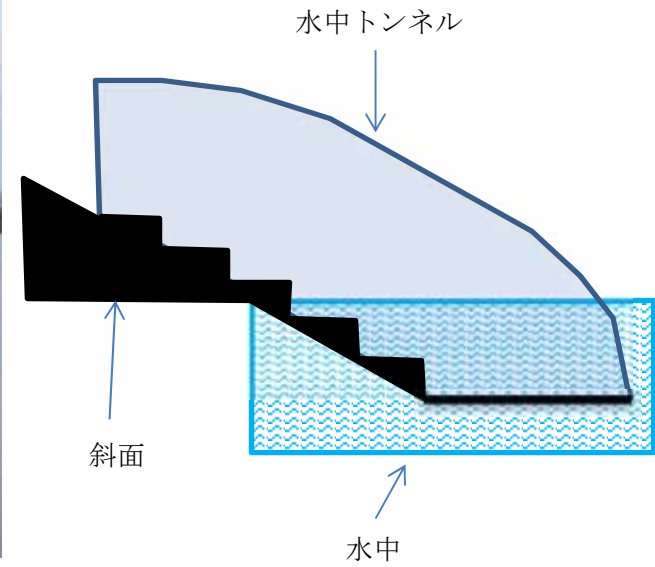
さらに子どもにも楽しんでもらうためにも

川に近づくことによって大淀川に興味を持ってもらい、同時に大淀川について知ってもらう機会をつくる。

自然の景色であるため来る度違う景色を楽しめる。(←飽きさせない)

具体例①

水中を観察できるプチ水中トンネル

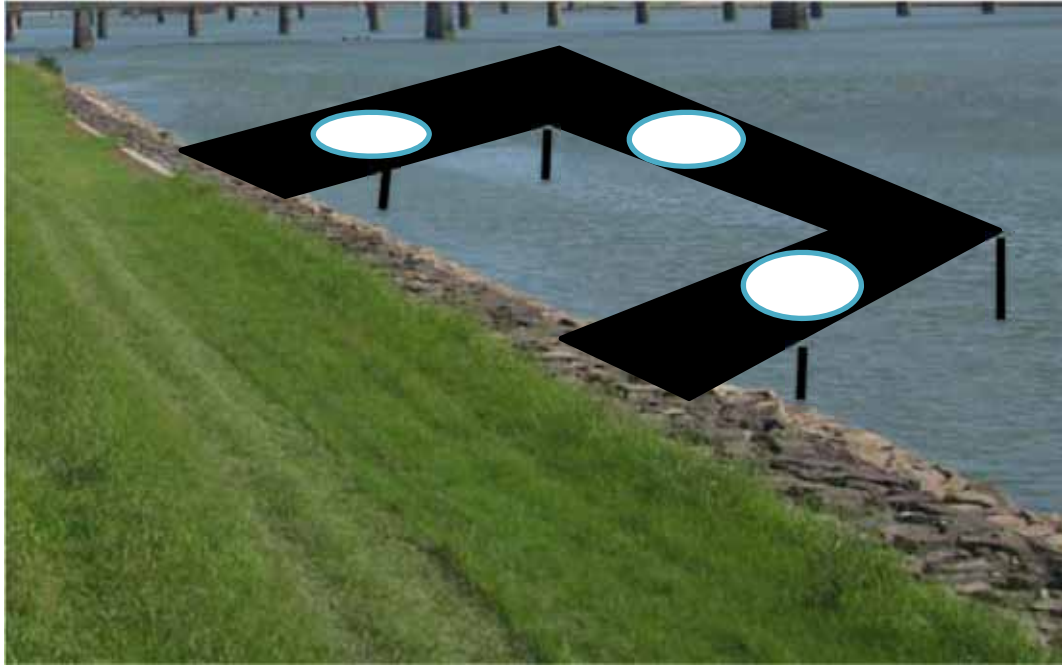


バリアフリーとして手すり、スロープの設置

※配色は周りとの調和を図り考慮する

具体例②

川を上から見る事ができる橋



イメージはこの写真のような感じで、○部分は床を透明にして、川を上から見る事ができる。
落下防止のため柵もつける。

考えられる問題点

- ① 河川敷に日陰がない
- ② 景観とのバランスが崩れないか
- ③ 近隣ホテルの理解・協力
- ④ 人が集まることによるゴミの増加の恐れ
- ⑤ 子どもを遊ばせておいて自分は走るといった際に子どもが心配
- ⑥ 悪天候の際、川の氾濫の恐れあり
- ⑦ 普段から河川敷を利用されている一般の方やスポーツの団体、行事等への影響
- ⑧ 交通手段の欠如
- ⑨ 雨天時などのプチ水中トンネルへの浸水



対策

- ① あずま屋の設置（図7参照）
- ② 景観法に基づき配慮する
- ③ メリット、根拠を明確にする
- ④ ゴミ拾いを促進させる企画
ex) 帰る際にゴミを持ってくると駐車料金割引など
- ⑤ 遊び場に関しては防犯カメラ設置・監視人を置く等の管理体制をとる
- ⑥ 危険のある場合は使用を禁止する
- ⑦ 遊具等を設置しても影響を与えないスペースの確認
ジョギングコースは堤防を使用
- ⑧ アンケートを実施し、利用者希望の多い時間帯の便を増やし、ちょっとした循環バスを走らせる
- ⑨ 中にはいくつかの排水溝をつけ、川の氾濫や特に雨がひどい場合のために入り口に頑丈なシャッターを設置



図7. 福知山市観音寺山添の山添堤公園

まとめ

●コースの整備・舗装

・ジョギングコースのルートには河川敷堤防と橋の歩道を利用

現在河川敷堤防にある道を舗装し、橋の上の歩道に関してはジョギング用に必要な幅を確保、色をつけるなどして判別する。

なお、その道は「ジョギング者優先」という形にする。**1km**ごとに地面に距離を表示。

●景色

・もみじに関して

春に花を咲かす桜並木は天満橋辺りから平和台大橋辺りまでに **285**本の桜が植えられており、

これに秋の景色も加えることでより魅力的な場所とする。

●施設

・子どもの遊び場

アスファルトは危ないので芝生のゾーンに設置し、普段利用している少年サッカーなどとの関係を確認。

・温泉

近くにホテルが建ち並んでいることもあるのでホテルとの連携をはかり、温泉を使わせていただけるようにし、

さらに食事をできる場があれば人が集まる可能性は高くなる。

・ロッカールーム・シャワールーム

温泉まで行かなくていいけど汗は流したい、という方もいることが予想される。

河川敷の堤防を挟んでの反対側（市役所側）につくり、温泉施設を最初から利用予定の場合ロビーでの預かりを可能にする。

・ふれあいゾーン

災害対策をしっかり施して、利用者に楽しんでもらうことも大事だが、大淀川について知ってもらい（生息する生き物の紹介、歴史など）、

自分のまちについて興味を持ってもらえるきっかけとしてもらいたい。

最後に

地域にはそれぞれ魅力がある。だがそれを感じている人がいれば、何も感じず、その地域について何も知らない人もいるだろう。ではそのような人にどうやってその魅力というものを感じてもらうか、どうやってそのことを知ってもらえるか。そこで今回考えたのがその地域の自然とふれあいながら遊んでもらうことでその地域のことを知ってもらおうというもの。また、知ってもらうだけではなく愛着をもってもらえればこれからのまちづくり、地域活性化につながると考えたので、各施設等のデザインなどは地元の方に募集をかけるなどすることで愛着をもってもらいたいです。

図 1.

https://www.google.co.jp/search?q=%E5%A4%A7%E6%B7%80%E5%B7%9D%E3%80%80%E5%B9%B3%E9%9D%A2%E5%9B%B3&hl=ja&rlz=1T4ADRA_jaJP364JP364&tbm=isch&tbo=u&source=univ&sa=X&ei=RTFCUrXuMIPMkAXE8YGwDg&ved=0CCsQsAQ&biw=1280&bih=799&dpr=1#hl=ja&q=%E5%AE%AE%E5%B4%8E%E5%B8%82+%E5%9C%B0%E5%9B%B3&tbm=isch

図 2. <http://halcyon.cocolog-nifty.com/halcyon/2011/02/post-55e3.html>

図 3.

http://www.google.co.jp/imgres?sa=X&hl=ja&rlz=1T4ADRA_jaJP364JP364&biw=1061&bih=588&tbm=isch&tbnid=5HE7lbPw54KKIM:&imgrefurl=http://blog.livedoor.jp/toyamanotora/archives/3313932.html&docid=bwaaYO1T3f3EyM&imgurl=http://livedoor.blogimg.jp/toyamanotora/imgs/3/f/3ff57fdc.jpg&w=1024&h=768&ei=tRQ5UuqFH0PMkAXppYGgBQ&zoom=1&iact=hc&vpx=173&vpy=259&dur=2234&hovh=194&hovw=259&tx=161&ty=129&page=1&tbnh=142&tbnw=189&start=0&ndsp=15&ved=1t:429,r:6,s:0,i:98

図 5. <http://www.city.miyazaki.miyazaki.jp/www/contents/1261380606463/index.html>

図 6. <http://1000enpark.com/park/kanagawa/atsugi/tyuuou.html>

図 7. <http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20130605-00010001-rtn-126>

図 4. ふれあいゾーンの写真 <http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/html/kasen/kodomomizube/pdf/mizubebook.pdf>